

あきく



# ボランティアだより

(編集・発行) 広島市安芸区社会福祉協議会 ボランティアセンター

広島市安芸区船越南3丁目2-16 安芸区総合福祉センター3階

No. 220

発行部数 1,500部 (TEL) 821-2503 (FAX) 821-2504

発行日 2026年2月 (Eメール) aki@shakyohiroshima-city.or.jp

**安芸区ボランティアセンター登録団体が表彰  
されました。おめでとうございます。**

## 市長表彰

グループ名 つづみ会

設立年月日 2001年4月

活動年数 24年

活動場所 船越老人いこいの家

活動内容 船越ミニデイサービス ※対象は病弱、中途障害、  
高齢者、高齢者1人暮らしの方

「利用者が楽しめるよう、季節行事・体操・もの作り  
手作りお菓子で茶話会等をされています。」



▲代表 真田 悦子さん

## 県社協会長表彰

グループ名 イースト

設立年月日 2001年7月

活動年数 23年

活動場所 東部障害者デイサービスセンター  
(安芸区総合福祉センター4階)

活動内容 地域活動教室(ヨガ・陶芸・書道等)の支援  
デイサービス(体操・マッサージ等)の支援

「利用者に優しく寄り添った活動をされています。」

イーストの活動見学をされたい方は、  
安芸区社協まで



▲代表 竹下 紀子さん

## 市社協会長表彰

グループ名 グラマーズひよっこ

設立年月日 2014年4月

活動年数 11年

定例会会場 畑賀福祉センター

定例会内容 演芸の練習と出張演芸打ち合わせ

活動場所 高齢者施設 他

活動内容 演芸披露(日向ひよっこおどり、  
フラダンス、日本舞踊等)

「施設の利用者が、パツと笑顔になる演芸をされています。」



▲代表 山縣 芳樹さん

# 要約筆記三二講座

# 受講者募集



聞こえにくい人や補聴器をしている人のサポートをしてみませんか。  
要約筆記は、親しい人との会話や講習会、行事や会合などで、書いて伝える支援です。  
講座では誤解のない書き方のコツなどがわかります。  
遠慮なく何でも話せる仲間といっしょに楽しく学びましょう！

日 時： 令和8年4月17日（金）・4月24日（金）・5月8日（金）  
全3回10:00~12:00

会 場： 安芸区総合福祉センター3階 ボランティア研修室

対 象： ボランティア活動に関心のある人

聞こえにくい人や補聴器をしている人 その家族や支援者

受講料： 無料

定 員： 10名（定員になり次第締め切ります）

※感染症対策等の関係で中止になる場合があります。御了承ください。



4/17(金)

「聞こえない」って  
どんなこと？  
～ 聞こえない体験を  
してみよう～

4/24(金)

基本的な要約技術  
チームワーク  
～ 伝わりやすい  
書き方の工夫～

5/8(金)

ノートテイク  
施設見学実習  
～ 利用者に対応  
した書き方～

問合せ・申込み 安芸区ボランティアセンター

安芸区総合福祉センター3階（安芸区船越南3-2-16）

TEL/8 2 1 - 2 5 0 3 FAX/8 2 1 - 2 5 0 4

主 催 NPO 法人広島市要約筆記サークルおりづる 安芸支部

協 力 安芸区社会福祉協議会



## 要約筆記サークルおりづる安芸支部 地域でも活躍しています

### 小学校や地域でやさしさ発見プログラム (福祉教育)をしています！

今年度5件の依頼を受けていただきました。  
今回は初めてJAひろしま女性部中野支部健康大学  
さんからの依頼がありました！

聞こえる人も年を重ねると耳が聞こえにくくな  
てきます。身近な人や大切な人の耳が聞こえな  
くなったとき、どんなことに気がつけたらよいの  
か、何を手助けしてあげるとよいのかを学びたい  
という思いがありました。

はじめに指やヘッドフォンを使って、聞こえに  
くい体験をしました。聞こえないことは怖くて不  
安だということがわかりました。難聴者の体験談  
や筆談カフェを通し、聞こえないことへの理解を  
深め、耳が聞こえにくくなったときに使えるグッ  
ズなども学ぶことができました。





# やさしさ発見プログラム事業



やさしさ発見プログラム事業では「体験!発見!!ほっとけん!!!」を合言葉に、  
①体験学習②振り返り学習(気づき)③まとめ学習(ボランティアな気持ちの育成)を学習過程としてしています。

事業対象は、学校、地域、企業、団体等です。点字・手話・要約筆記・車いす体験・盲導犬等があります。その他どのようなことがしたいかを聞き、一緒に考え講師調整をします。ご要望の際は、安芸区社会福祉協議会までご連絡ください!



## 点字サークルぴあらいと

×

## 矢野西小学校3年生



矢野西小学校の3年生から、点字体験をとおして、様々な障害を持つ方がいることや、自分たちに何ができるかという気持ちを育ててほしいと依頼があり、点字サークルぴあらいとが講師をしてくださいました。

実際に点字を打ってみると、力加減や一つ間違えて打ってしまうと別の言葉になり困ることが分かり、興味津々に取り組んでいました。

点字に触れ、視覚障害について理解を深め、自分たちも困っている人がいたら声をかけるなど自分に出来ることをしたいと考えるようになりました。



## 瀬野小学校 5年生

×

## 義足ユーザー 池田さん



瀬野小学校の5年生は、総合的な学習の時間で福祉や体が不自由な人にとって暮らしやすい街について考えています。

全3回池田さんを講師としてお招きし、2回目にはスポーツ用の義足の池田さんとスポーツ体験をしました。立ち幅跳びやボール投げ、ドッチボールを通して通常の義足との違いを知ることができました。

この授業や様々な体験を通して、自分たちに何が出来るかを考えていくそうです。



## ボランティア活動紹介

# 安芸区ボランティアグループ「アカハイ・ホヌ」（歌声フラ）が、 就労継続支援B型事業所ponoでフラを教えています



▲手と足のふりを同時に挑戦していました。

「アカハイ・ホヌ」さんは、普段地域のサロンや認知症カフェ等で、座ってできるフラダンスを教えています。

今回は、ponoさんから通所者の方がフラダンスを習いたいのので、教えていただけないかと安芸区社協へ依頼があり、調整しました。

去年の11月から、基本第2・4水曜日13:00～1時間程度、フラダンス指導がスタートし、通所者の方からは、笑顔で「楽しいです」との感想をいただきました。

将来的には、森の工房AMAさんの「あきのそらまつり」などで、フラダンス発表ができればと夢を膨らましておられました。



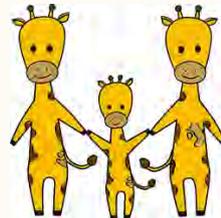
▲歌声フラ参加者メンバー12名。

取材をした1月14日は、男性6名・女性4名・職員3名が参加していました。パウスカートも事業所でそろえて、花飾りも手作りだそうです。



▲「それゆけカーブ」のフラダンスの手ぶりを、椅子に座って確認していました。

## ボランティア活動保険



○ボランティア活動保険料  
＜加入プラン＞  
基本プラン 350円  
天災・地震補償プラン 500円  
補償期間：R8.4.1～R9.3.31

令和8年度の加入手続きをお願いします。

令和7年度にご加入いただいたボランティア活動保険は、3月末日で補償期間が切れますので、手続きをお願いします。

**加入する前にご確認ください。（ボランティア行事用保険も加入対象者は同様です。）**

加入対象者・・・市社協・区社協の構成団体（地区社協他）

区ボランティアセンター登録団体・個人

市社協・区社協の賛助会員

※上記にあてはまらない団体等は、安芸区社協までご相談ください。

加入対象とならないボランティア活動

・PTA・自治会・町内会・老人クラブ・子ども会など、ボランティア活動以外の目的で作られた団体・グループの事業や親睦の為の活動

